

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日: 2021年 11月 30日

事業所名:療養通所介護 まごころ

(児童発達支援・放課後等デイサービス)重症
心身障害児

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	利用定員に応じたスペースは確保できている。コロナ対策としても各ベッドの配置に注意している。	はい(12) 一人一人にベッドと車椅子のスペースが等の間隔が取れており感染対策もされていて安心しています。	一人一人にベッドは確保あり現状維持引き続き感染対策を徹底する。
	2 職員の適切な配置	現在スタッフも充実してきている利用者様1~1.5:1の体制を整えている	はい(11)・分からない(1) ・NSや介護職さんが利用者の数に対ししっかり配置されているので安心です。スタッフさんの人数及び専門性の高さには安心しています。	職員の配置については現在基準を満たしている為、現状維持。保護者に対して今後もスタッフの紹介を含め会報を活用しお知らせしていく。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	全面的にワンフロアであり利用者様の顔やモニターが見える様にベッドの配置やスタッフの配置を考え異常の早期発見・対応につとめている。サークルベッドを導入し幅広い利用者様に対応出来る様にしている(コロナ対策も含め)	はい(11)・分からない(1) ・いつも見やすいスペースで良いと思います。 ・利用者さんの顔、パルスオキシメータが確認出来るベッドの配置なので安心しています。本人もスタッフの方々の顔が見えるので意思表示が伝えやすいようです。	子ども達の体調や室温などを考慮し、利用時のベッドの配置を決定している。保護者に対しては、今後も会報を活用し療養室の雰囲気等をお知らせしていく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日の環境整備(物品等のアルコール消毒等)、コロナ対策として3密の徹底を行っている。空気清浄器もフル活用している。利用者様が楽しく明るい気持ちで過ごせる様に室内の雰囲気作りを行っている。	はい(11)・分からない(1) ・元々きれいにされており汚れたら新しくされている。コロナ禍なので今まで以上に清掃や消毒をされていると思います。 ・子供が我が家の様に寛がせて頂いています。いつも良い顔で帰ってくるので安心しています。いつも有難うございます。	引き続き、清掃・消毒を徹底していく。保護者に対しては、今後も会報やホームページを活用し療養室の雰囲気等をお知らせしていく。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	年に1回、目標の振り返りを行い反省点や考察を行い再度目標設定と対策を立案している		個々に対してと、チームとしての目標の振り返りや考察を行う。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	年に1回の運営推進委員会の開催 年に2回の安全サービス委員会の開催や年に1回の保護者の方々の自己評価ににおいて意見を参考にし業務改善を行っている		引き続き外部や保護者の意見を参考に、安全で快適な利用環境を整える。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	出来る限りスタッフの希望があれば研修参加出来るように努めている。今年はオンライン受講等や職員間で疾患や研修に参加した資料で職員全員間で共有を図っている。		研修内容はスタッフ間で勉強会を行い情報共有をする。
適切	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	モニタリングや事業者内相談支援等を含め6カ月毎や状態変化時には見直しや修正を行っており保護者の意見も傾聴し個別支援計画書に追加・修正をおこなっている	はい(12) ・いつも話をしている事も計画に入れて貰い助言も頂いています。 ・その都度、状態を観て下さり助かっています。助言をして貰ったり早目の対応をして下さいます。	子どもと保護者の思いを汲み取り、アセスメントを適切に行い、今後も計画の修正・追加を行う。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
な支援の提供	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個別ではできているが集団支援に関しては医療的ケアを重視している。またコロナ対策として3密を避けソーシャルディスタンスを行っている。その中でボランティアの方に本の読み聞かせや紙芝居などを支援を提供している	・子供気持ちを分かろうとしてくれて親の希望や困った事も取り入れ計画をされ丁寧な説明をされています。 ・集団支援に関しては学校で行っています。デイではゆっくりして欲しいです。	個別的には手遊びや発達に応じた体位訓練などを行っている。集団では、保護者の要望を取り入れながらボランティアの読み聞かせなどを行う。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	なるべく具体的な目標設定は保護者の方と支援計画修正前にモニタリングを行い修正・追加している	・6か月毎に具体的に作成をして頂いています。家族の希望も取り入れて頂いています。	引き続き行う。
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	計画に沿った支援を行っている 家族様の希望やや本人の状態に応じて支援の変更や修正も行っている	はい(12) ・計画以上にその時の状態を観ながら対応して頂いており次の計画書にも追加されています。 ・細かい子供の変化にも気付いてくださるので本当によく観て頂いて安心しています。	引き続き計画に沿った支援及びその時の状態に合わせて支援を行う。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	看護師・介護士のケアミックスを行っており、お互いに意見交換ができ個別支援計画にも修正や追加に生かされている	はい(7)・どちらとも言えない(2)・分からない(3) ・活動プログラムに関しては分からないですが色々工夫して下さっているとは聞いています。	療養通所の特性上今は出来ていないが、今後検討していく。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	祝日や長期休暇中スタッフの意見や保護者の希望があれば考慮している。 当日や前日に家族様から家族の予定や病気にて利用希望がある場合は緊急にて対応させて頂いている。	・緊急時や祝日、長期休みなど必要に応じて対応して下さり助かっています。 ・家族の行事の時や体調不良時に相談すると色々調整して頂いて観て貰っています。	保護者の急なレスパイト目的などの利用の対応や、長期休暇の際はバギーに乗るなどの活動を増やした対応を行う。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	医療的ケアを重視しているが出来る範囲で工夫を行っている	・本人は自宅と同じ様なスタイルになっており寛いでいるみたいです。 ・帰って来たらいい顔で帰ってきます。	療養通所の特性上今は出来ていないが、今後検討していく。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	支援内容が変更された時は、その都度伝えている。 昼の時間が空いている時に状態変化がある時が多い為、当日やその都度伝えて事故が起こらない様に情報の提供・共有を行っている		状態が変化しやすい利用者が多いため、引き続き申し送りの時間を取りスタッフ間での情報共有ができる様にする。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	毎日落ち着いている時間(昼の休憩時)に受け持ち看護師から状態を伝え介護士が記載している日誌、その日の担当看護師の記録から状態や支援を共有している		申し送りの時間を取りスタッフ間での情報共有を行い、カルテに記録を残し各自が目を通し情報共有する。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	状態変化があれば必ず記録に記載している。支援についても日々の考察や評価も記載している。状態変化時はスタッフ間でも考察や対応を考え支援を行っている。	記録用紙及び連絡帳の様式の変更を行いより良いものを考え作成し正確な記録の徹底を図り支援の検証改善の継続につなげていく。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	6カ月毎や状態変化時には見直しや修正を行っており保護者の意見も傾聴し個別支援計画書に追加・修正をおこなっている	現状維持
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	依頼があれば時間調整を行い出来る限り参加し情報の提供や共有を行っている	現状維持
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	医療機関に関しては保護者の方から主治医に相談して頂いている。必要時はENTカンファレンスに参加し状態の提供・共有をおこなっている。学校に関しては送迎時に先生から状態を共有したり学校のコーディネーターの先生に直接相談や情報の共有を行っている。	基本的に家族からの情報提供だが、必要時関係機関へ直接連絡を取っている。今後も連携をとって行く
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	基本、保護者の方を主に主治医に相談して頂いている。今年は特にコロナ対策にて現状になっている為、保護者の方に依頼を行っている	連絡体制は取れているので今後も引き続き行っていく。
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	児童発達時から放課後デイサービスに移行に関わらず学校のコーディネーターの先生や相談支援員さんを主に担当者会議での情報の提供や共有を行っている	相談支援員さんを通じ各部門と連携、情報共有を行い本人に必要な支援が途切れないようにする。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	相談支援員さんを主にになり関わっていく関係部門の方々の調整を行ってもらい担当者会議等で情報の提供・共有を行い支援を行っている	相談支援員さんを通じ各部門と連携、情報共有を行い本人に必要な支援が途切れないようにする。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	基本、相談支援員さんが窓口になり連絡を取っている 研修に関してはスタッフが興味があるものや受講をして欲しい講義に関しては受講を受けて貰っている。	必要な研修は積極的に参加し専門機関との連携を取って行く。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	7	児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	当事業者は医療的ケア児が主であり抵抗力の弱い利用者様が多いため控えている。基本は学校や地域での交流を行って貰っているのが現状である。今年はコロナ対策もあり提供できる機会がない現状である	はい(1)・分からない(7)・どちらとも言えない(2) いいえ(1) ・コロナ禍なので交流はいいです。 ・学校で行っているのでデイではリラックスして欲しいです	保護者の要望を確認しながらコロナ禍の為、今後の状況により機会を設けていく。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	中々、療養通所介護とはを理解されていない現状である為まずは療養通所介護とは？を知って貰う為にパンフレットやホームページを活用している現状である。また今年度に関しては災害についての相談や助言を頂く為、市の方々を含め協力している状態である	分からない(11)・どちらとも言えない(1) ・今はコロナ禍なのでいいです。	コロナが落ち着いたら地域住民と交流を持てる機会を考えていく。
保護者への説明責任	1	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明	契約時にパンフレットや契約書を読みながら説明している。変更時も修正された用紙を渡し説明している	はい(12) ・変更があれば、きちんと説明されます。 ・毎回言ったことや一緒に考えた事を取り入れて計画の修正されています。きちんと説明されています。	現状維持
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	送迎時に新しく修正・追加した所は口頭で説明しており見ても分かり易い様に下線を引き工夫している	はい(12) ・毎回言ったことや一緒に考えた事を取り入れて計画の修正されています。 ・いつも追加や修正場所を送迎時に説明され分かり易いです。	現状維持
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	自宅ではどのようにされているか、その都度家族様には聞き、こちらでも変化や対応等分かる範囲で支援している	はい(9)・いいえ(2)・分からない(1) ・先日の話と茶話会で自宅でもやってみようと思いました。コロナ禍で話す機会も減っていたのでペアトレの話を通して色々な方と話が出来て良かったです。 ・資料を頂きましたが本人も年齢がいつているので対象で無いと思う。	保護者へのアンケートを実施し要望を確認した上で、茶話会という形でペアトレの説明を行い参加出来なかった人にはパンフレットを渡した。今後も要望があれば続けていく。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時に状態報告や保護者の方から連絡にて共通理解できている スタッフ間でもできている	はい(12) ・いつも送迎時に話をしており理解されています。 ・細かい所まで家族が気付かなかった事も伝えて下さり有難いです。	現状維持
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	保護者様からの悩み事や問題点を聞かれた時は出来る限り相談に応じ分からない事については調べてから返事を行っている	はい(10)・分からない(2) ・利用を始めたばかりで分からないです。 ・いつも相談に応じて助言を貰っており助かってます。 ・子供のことは勿論、家族の事も気にかけて下さるので家族で支えて貰っている様に感じます。 ・相談支援員さんも知っているものだと思いますが、オムツの手当や福祉制度、コープ共済で障害でも加入出来る事も事業所さんからも伝えていって貰いたい(今回の茶話会で共有出来たので良かった)	現状維持

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
連携支援	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	保護者の方のレスパイトを行っている為、保護者会は行ってない。レスパイト中に休息や兄弟の行事参加を行ってもらっている	はい(6)・いいえ(1)・分からない(5) ・利用を始めたばかりで分からないです。 ・父母会は学校だけでいいです。家族としては休める時間や兄弟姉妹の関わる時間が欲しいです。 ・父母会は負担が大きいので出来れば無い方がいいです。この前の様にベアトレ講義の後に茶話会を不定期で行って貰い色々な方と知り合い、情報の共有や交換が出来たらいいです。	保護者の方の負担になるような活動せずに要望があった時などに不定期に茶話会など行う
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情は無いが苦情の対応・体制はマニュアルに記載しており管理者を主に迅速に対応するようにしている	はい(10)・分からない(2) ・苦情が無いので分からないです。 ・苦情は今の所ないです。もし、そういう事があればきちんと対応して下さると思います。	何かあればすぐに話して頂ける様に連絡帳などを利用して貰えるように声掛けを行う
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	保護者から事前に色々と動作で何かを訴えているか情報収集し、利用時からは表情や動作、心拍数、返事の仕方を観察していきながら理解出来る様に努めている	はい(12) ・子供は喋りませんが表情・態度でよく気が付いて下さり分かって下さろうとしてくれます。 ・スタッフの方々が優しく声掛けして下さるので本人も意思表示をしているみたいです。	現状維持
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	定期的な会報は無い 何か行事をする時は知らせたり冊子を作成し保護者様に渡している	はい(11)・分からない(1) ・お便りは凄く状況も分かりスタッフさんの事が分かるので良いと思います。 ・お便りは楽しみにしています。利用者さんの療養室での様子も知りたいです。	不定期で会報を発行し、利用者様や療養室の様子を伝えていく
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	十分に徹底している。何か情報や写真が必要な場合はその都度、保護者の方に了承を得ている	はい(12) ・写真など使われる時はいつも確認されて来られます。今後に生かされるなら使って下さい。	現状維持
非常時等	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	災害マニュアルは出来ているが毎年の避難訓練後に修正・追加している 保護者様の方には避難訓練時の様子をプリントアウトし配布している	はい(12) 今、色々な事に取り組んでいる事の説明を受けています。 ・災害時の対策を市や色々な方と共に取り組んで下さっているので安心しています。 ・災害時用の薬も1日分預かって頂いています。お薬も内容・量が変更あるので定期的に見直しして下さっています。 ・必要物品も揃えられているので安心です。	随時、各マニュアルの見直しを行っている
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年に1度の避難訓練を行いマニュアルの修正をおこなっている 必要最小限の非常物品も作成しており年に4回はチェックしている	はい(11)・分からない(1) ・毎年避難訓練をされており、お便りで知らせて頂いています。 ・水害・その他の災害など毎年考えられ訓練されており本当に凄いなと思っています。 ・お薬も内容や量が変わるので定期的にチェックと交換して貰っており安心です。	現状維持 コロナが落ち着いたら災害時の避難訓練などで地域住民と連携し協力を得られるような体制を構築できるように検討中
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	マニュアルあり 現在の所、虐待の事例はない		委員会や研修会等でより知識を深め今後に活用していく

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
の 対 応	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	やむを得ず身体拘束が必要な場合は保護者様に確認を行い了承を得てから行う様にし必ずカルテに記録を残すようにしている マニュアルあり	身体拘束のフローチャートを作成し同意を得たうえで支援計画に追加した
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	アレルギーのある利用者様に関しては保護者様から情報を貰い主治医の指示に従う。何のアレルギーか分かる様にカルテに記載しスタッフにも情報を共有している	利用開始時に家族からの聞き取りを行いアレルギーの確認を行う。 自宅から持参した食品以外は使用しない事を徹底する
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットがあった場合は時間が出来た時にスタッフ間でフィードバックを行い共有し考察や今後の対策を考え再度同じヒヤリハットが無いように強めている	現状維持